



全国学力・学習状況調査について

高松市立檀紙小学校

保護者のみなさまには、いつも学校の取組にご理解ご協力いただき、ありがとうございます。4月に行った全国学力・学習状況調査の結果が公表されましたので、檀紙小学校の状況をお知らせします。

◎はよくできていた点 ※は課題とお願い

国語

- ◎ 全国や香川県の平均と比べると本校の平均正答率は高く、これまで学んできた内容についておおむね理解できています。
- ◎ 記述式の問題では、無回答者がいませんでした。文章を読んで自分の考えをもち、何とか伝えたい、という学びに向かう人間性の現れだと思えます。素晴らしいです。
- ※ 問題文の読み間違いと思われる解答が見られます。問われていることを正確に読めたり、資料等に記載されている内容を正しく理解できたりすると、国語力が上がるだけでなく、生活全般のいろいろなことが分かってくるようになります。以下のような声かけを行っていただけたらと思えます。
 - ・新聞や書物等を読むことを推奨し、活字に慣れ親しむ。
 - ・書かれている内容を大まかにつかむ。
 - ・調べ学習では、書物の文章をそのまま引用するのではなく、自分が分かる言葉に置き換えてまとめる。

算数

- ◎ 算数も全国や香川県の平均と比べると本校の平均正答率は高いです。また、無回答率も低く、子どもたちは、真剣に問題に取り組み、自分なりに課題解決に努めています。
- ◎ 複数の数量から必要な数値を選んだり、問題解決の条件と照らし合わせて判断したりする問題がよくできていました。多くの情報から必要な情報だけを選んで数理的に表現したり結果を振り返ったりする力を身に付けることは、これからの社会の中では必須と言えます。また、その基となる数学的な考え方が身に付いている児童が多いことは、素晴らしいです。
- ※ 図形の性質や辺や角などに着目して図形をとらえることを苦手とする傾向が見られます。図形を並べる、図形を分割する、図形をかく等の操作活動を大切にすることで、図形のとらえ方やイメージが広がっていくと思えます。また、2つのグラフを比較して考察する問題にも課題が見られました。そこで、新聞やネットニュース等を活用して、日常的に表やグラフにふれる機会を増やすことが効果的だと考えられます。

質問紙

- ◎ 「外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思えますか」という質問に対しては、7割の児童が「思う」と回答し、外国の人や異文化に触れ合い、未知のものと出会うことを楽しみにしている傾向が強いことがうかがえました。
- ◎ 5年生までのICTの活用頻度を聞く質問では、「ほぼ毎日」が約6割あり、県の約2割、全国の約1割と比較してかなり高く、ICT機器を日常的に活用していることが分かります。
- ※ 「将来の夢や目標を持っていますか」という質問に対し、「当てはまる」という割合は大きいものの、「どちらかといえば当てはまらない」「当てはまらない」という児童を合わせた割合が県や全国に比べ大きくなっています。中学生からのメッセージや中学校生活について話してくれる機会を活用するとともに、自分の将来を見すえながら学習に取り組めるよう、様々な教科や道徳、総合的な学習等を進めていきます。